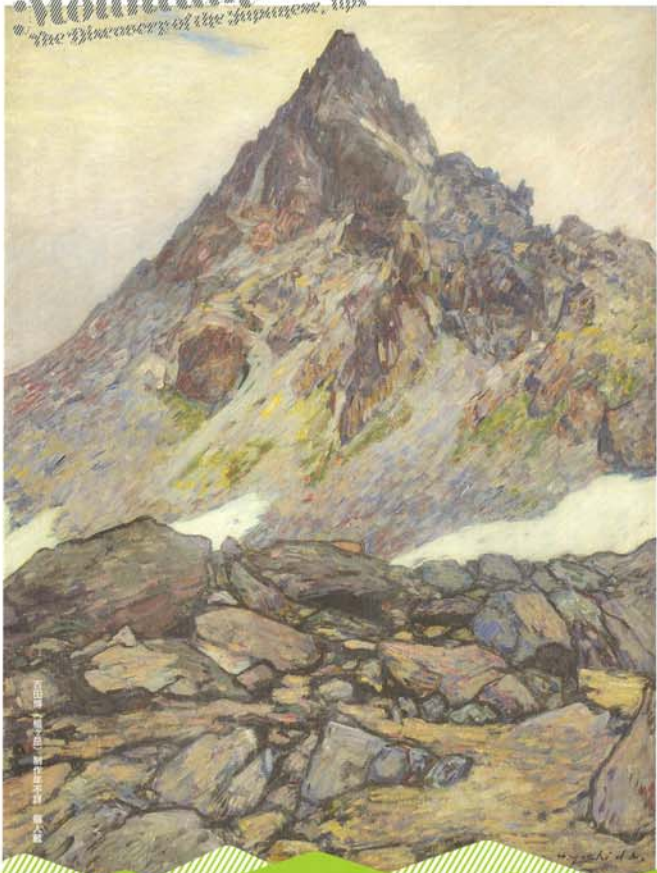


Mountain Aura
The Mountain of the Japanese Alps



遙かなる山

発見された風景美

2016 7月16日(土) ~ 9月4日(日)

観覧時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)

※8月11日(水)祝日は19:00まで閉館(入場は18:30まで)

休館日 7月19日(火)・25日(月)

※8月8日(月)は展示替えのため、本展覧会のみ閉館

観覧料 大人1,000円

大学生・70歳以上の松本市民600円

※20歳以上の団体は100円引き

※中学生以下無料、障害者手帳携帯者との介助者1名無料

【観覧料】大人800円、大学生・70歳以上の松本市民400円(観覧は2016年7月15日まで)

プレイヤード、松本市美術館、松上倉庫店、こぼし画廊、シアノ画廊、手塚信治堂

ローソンチケットセンター(1899)、ぴあチケットセンター(047064)

【チケット】大人600円、大学生・70歳以上の松本市民300円

※25日以上の観覧料、半額の観覧が必要ですが、特約観覧はできません。

主催 松本市美術館

共催 abn長野朝日放送、信濃毎日新聞社、

市民タイムス、松本平タウン情報

協力 公益社団法人 日本山岳会、一般財団法人 全登山の日連盟、

長野山岳協会、一般財団法人 松本市芸術文化振興財団

企画協力 yab山口朝日放送

前期展示 7月16日(土)~8月7日(日)

後期展示 8月9日(火)~9月4日(日)

※休館期間のため、会期中に展示替えがあります



山の日
制定記念



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

松本市美術館で開催中の、山の日制定記念企画展「発見された風景美 遙かなる山」を見に出掛けた。広報に載った吉田博の絵「槍ヶ岳」に引かれたから。15年前の2001年、信濃美術館で、「没後五十年 吉田博 木版画展」が開催された時を思い出す。その日、友人と会う約束が急にキャンセルになり、ポツカリ空いた秋の日を、あてもなく長野方面へ車を走らせた。途中、サービスイリアで偶然手に取ったチラシ

読者エッセー

「遙かなる山」展と

吉田博のこと

吉畑博子(67歳・松本市波田)

シ。載っていた「雨後な、18、19世紀英国風景の穂高山」の版画に驚いた。わが家の玄関に掛けてあるのと同じ版画ではないか(もちろん、ド、アフリカに及ぶが、

年の今年、版画家とばかり思い込んでいた吉田博の油絵に出会えたことがうれしかった。さて、展示された油絵「槍ヶ岳」に制作年不詳とあるのが気になる。最近偶然にも、1920(大正9)年の新聞記事に出合った。大天井岳、二俣小屋の石室で、吉田博と小林喜作の夜話である。雪のはえ、松いぶるいろりを囲み、「熊よりか人間の方が怖い」と山岳道徳が壊されていくのを嘆いた内容であった。

大正9年といえ、小林喜作が槍ヶ岳への「喜作新道」を開いた年である。吉田博、44歳にして初めて版画第1号を世に出した年と重なる。二俣小屋からは槍ヶ岳が見えるという。同年代の2人の出会いが油絵「槍ヶ岳」の原点であったのかもしれない。日本各地から収集された山岳絵画120点。さまざま発見と感動の企画展であった。松本市美術館での「発見された風景美 遙かなる山」である。